

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成 21・22 年度郭 I・郭IV・郭V・南部平坦地下海岸調査報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 108 集							
編著者名	田中 謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0028 今治市北宝来町 1-1-16							
発行年月日	2011 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまばりしみや 愛媛県今治市宮 窪町宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地 ^{ほんち}	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	200908 ～ 201103	433 m ²	史跡整備 に伴う試 掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	掘立柱建物跡、柵ま たは堀、溝状遺構、 土杭、地鎮め遺構		土師質土器、国産陶磁 器、輸入陶磁器、石製 品、金属製品等			
要約	<p>史跡能島城跡保存修理事業に伴い郭 I（2次）、郭IV、郭V、南部平坦地下海岸（3次）調査を実施した。郭 I 1次調査で検出した SB-1 は、2間×2間の総柱建物跡であることが明らかとなり、井楼の可能性が指摘された。郭IVでは、現状では能島城最大規模となる2間×4間の掘立柱建物跡を検出し、その北側に建物の建設あるいは廃屋に伴う祭祀痕と考えられる土師質土器皿 28点、銭貨 82点を伴う「地鎮め遺構」を検出した。残念ながら地鎮め遺構に伴う遺物の大半は樹木の根により破砕されていた。郭Vでは 51基の柱穴と東端に岩盤を低い堤状に削り出した遺構を検出した。南部平坦地下海岸では、砂浜に立つ 118本の木柱を検出した。また砂浜に打（埋）設、あるいは穴を掘り、木柱周囲に礫を入れて固定する岩礁ピットを伴わない2種の建柱構造が確認された。等間隔、直線的ではないが、石積に平行して横列状に複数の木柱列を確認した。また石積基部は礫、砂の上に構築されていることが明らかとなった。</p>							